

なんとハリウッドスターのトム・クルーズからお歳暮が届くそうですね。

そうですね(笑)。彼はとても義理堅い人で、お歳暮とかに限らず、いろいろなものを贈つてくださるんです。来日するたびに私が通訳を勤めていまますので、そつした間柄といふこともあります。

介護と福祉のパートナー  
社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

**ちゅーりっぷ**  
平成27年 1月号

いきいき暮らす、  
あの人に会いたい  
第9回

映画字幕翻訳者  
とだなつ  
**戸田奈津子さん**

1936年(昭和11年)東京都出身。津田塾大学学芸学部英文学科卒。生命保険会社勤務を経て、フリーで通訳・翻訳の仕事を開始。フランシス・コッポラ監督の来日時に通訳を務めた機縁で、1979年公開の『地獄の黙示録』字幕を担当。以来最も著名な字幕翻訳家のひとりとなった。著書に『KEEP ON DREAMING戸田奈津子』など。

それからリチャード・ギアもよく写真を贈ってくれます。彼はカメラがとてもうまくて、クリスマスの頃に、その年に自分で撮ったモノクロ写真のベストショットを贈つてくれるんです。彼とのおつきあいは、トム・クルーズより古くて、かれこれ40年くらじであります。でもまた煌めくハリウッドスターの中でも、定期的にものをくださるスターはこのお一人くらいです(笑)。なかよくおつきあいして、ハリウッドスターの中で、最近とてもシヨウクだったのはロビン・ウイリアムズが亡くなったりと、故人の死を悼みました。遺族の意向でその様子はネットなどで出されないでほしいところと、集まつた友人たちは誰一人も写真なども撮らなかつたのですけど、それはやはりロビンの人徳と云ふことですね。

### どんなきっかけで映画の字幕翻訳を手がけることになったのでしょうか。

学生の頃から私は授業に出てるより映画

るわねと、同級生からもその辺でみられていましたね。でも、私はやつたうと選んだし、自分の道だから悔じはないし、そういうふうの小説にとても影響を受けました。

そんなにあふれていたのが、どうしてこんなに好奇心もな

い立たせているの。若い頃はなんでも知りたうといつたけど、年をとりてくると自分で自分を鼓舞しなくてはだめね。

たとえば「パソコン」を習むうとか。私は「パソコン」の機能のこれっぽうかしが使っていませんけど、それでもメールをやりとりしたり、調べ物をしたり、自分を鼓舞して一生懸命やらなうとできなうでや。やっぱり好奇心を意識的に失わないようにするけど、自分にはだめと決めつけなうでチャレンジしていくことが大事ですね。新しいことを学ぶううことは脳を活性化させますしね。人になるべく頼りず自分でやること。自分の頭を使うううことが大

事ですね。自分が選んだから責任を持つのですね。人がなんといおうと自分で選んだ道には責任を持つうことを、私はこのイザベルとい

う主人公から学びました。

映画の字幕翻訳なんてヤクザな商売で、私が学生の頃、誰も望まないわけ。あなたつて変わつてさんにもせひおもひました(笑)。

イタリアのホテルで転んで肩を骨折されたばかりの戸田さん。快く取材に応じてくださいました。

館にいる方が長じとじうくらう映画好きで(笑)。ですから卒業するあたりの頃には、もう映画を翻訳したいなど。だけど情報が全然ないの。じつしたられるかわからない。それで當時映画の字幕で清水俊一さんという方のお名前がよく出でているので、その方に聞けばわかるだろうと電話帳調べて、お手紙を差し上げて訪ねていったんですね。だけまだね。

でももちろん諦めずに、清水先生との、糸一本のよつながりを、これはもう離すまいと(笑)。で、どうとう清水先生も根負けで、ときどきやり方を教えてください、自宅でのパーティなどに呼んでくださるようになったのがきっかけですね。当時清水一家なんていわれてましてね。多士済々、いろんな方が集まつてしまつしゃいました。のちに有名になる向田邦子さんなどもいらっしゃいましたね。だけど、これでつながりができるたううことで、お仕事をもつたううことではないんですよ。

はじめてちゃんと自分の力で字幕翻訳の初仕事となつたのはフランス・コッポラ監督の「地獄の黙示録」ですね。そのとき私はもう40歳を過ぎていました。字幕翻訳家になりたいと思ってから、20年間待ち続けたことになります。

学校で読ませられる本は、あまり面白くはありません。英語としては立派ですがね。でも、ネス書とかが多かつたのですけど、でも、じつは私の性に合わないんです。私はドリマ・ドリマのが好きで、その感動を伝える翻訳が好きなんでしょうね。だからとうとう映画字幕の翻訳をできるようになつてうれしかつた。

**津田塾大学の英文学科出身ですか  
影響を受けた作品もあるのです。**

知的好奇心にあふれていたのが、どうしてこんなに好奇心もな

い立たせているの。若い頃はなんでも知りたうといつたけど、年をとりてくると自分で自分を鼓舞しなくてはだめね。

たとえば「パソコン」を習むうとか。私は「パソコン」の機能のこれっぽうかしが使っていませんけど、それでもメールをやりとりしたり、調べ物をしたり、自分を鼓舞して一生懸命やらなうとできなうでや。やっぱり好奇心を意識的に失わないようにするけど、自分にはだめと決めつけなうでチャレンジしていくことが大事ですね。新しいことを学ぶううことは脳を活性化させますしね。人になるべく頼りず自分でやること。自分の頭を使うううことが大

事ですね。自分が選んだから責任を持つのですね。人がなんといおうと自分で選んだ道には責任を持つうことを、私はこのイザベルとい

う主人公から学びました。

映画の字幕翻訳なんてヤクザな商売で、私が学生の頃、誰も望まないわけ。あなたつて変わつてさんにもせひおもひました(笑)。



## 風邪・インフルエンザ対策を

冬は空気が乾燥して気温も低いため、風邪やインフルエンザにとっては活動しやすい季節。しっかりと対策と備えで、この冬をすこやかに乗りきりましょう。

### 風

邪やインフルエンザを引きおこすウイルスは、気温が20度以下、湿度が20%ぐらじにむと活動的になります。湿度20%とじうとじうびん乾燥しています。湿度20%そく、そんな乾燥した状態といつのは、あさり冬ならではの環境。寒くなると風邪やインフルエンザにかかりやすくなるのは、じうしたウイルスの働きが活発になるからなのです。



まずは口の中でクチュクチュとすいで吐き出し、口腔をきれいにします。次に上を向いてのどの奥までガラガラとうがいをして吐き出します。



流水で手全体を流し、薬用石けんなどで手のひらを洗います。手の甲や指の間もよく洗い、手首までも洗ってから流水で洗い流しましょう。

そして手洗いも手のひらだけではなく、手首の上から指の間まで石けんなどじてこねじに洗うのが「ツ」。適度な湿度と正しい手洗いをすれば、冬も元気に過ごしちゃう。

うがいは、とくに専用のうがい薬であります。のどは直接外気にさらされているため細菌の温床になりやすく、うがいじれりを取り除くよ

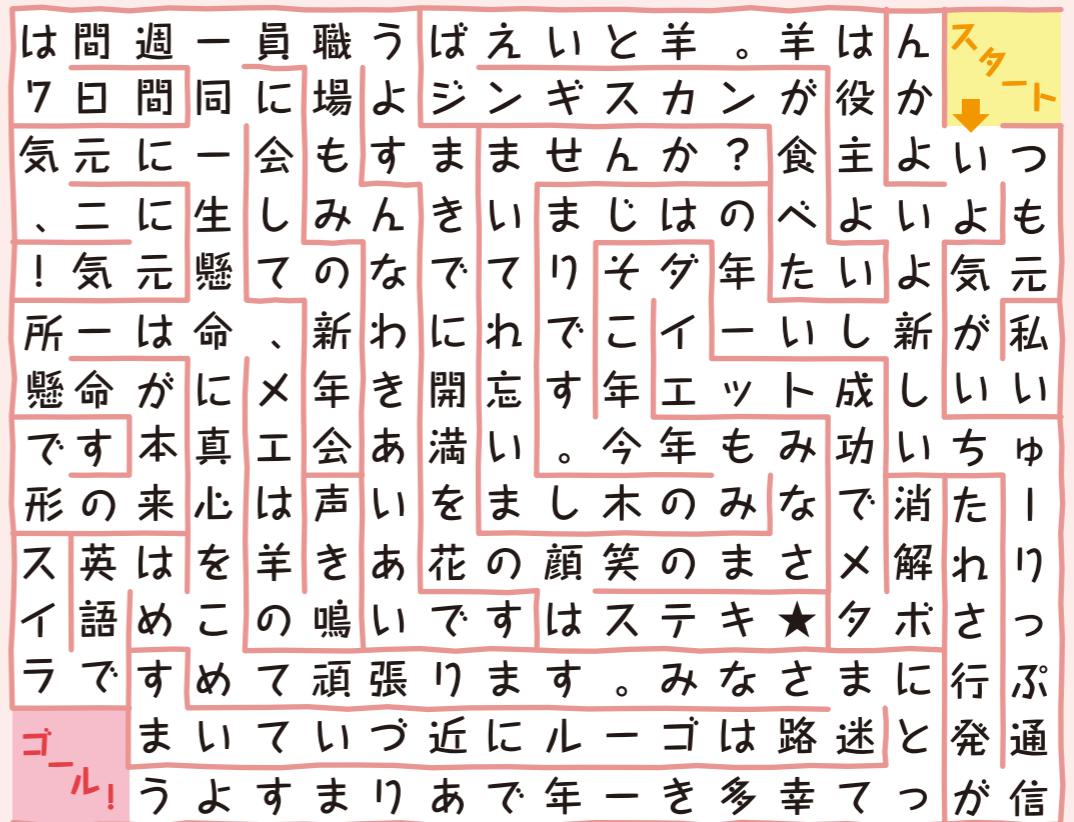
今は、おはなしめいろ※風のメッセージです。寄り道も楽しみながらゴールまでたどり着いてみてくださいね。

## 今月のクイズ



### メッセージ迷路

迷い道も楽しい！



※おはなしめいろは、保父でおもちゃ作家の杉山亮さんの作品です。

## 遠い思い出、 なつかしい 歌

### 「雪」

作詞 不祥

作曲 不祥

雪やこんこ  
あられやこんこ  
降つては降つては  
ずんずん積もる  
山も野原も  
わたばうしかぶり  
枯木残らず 花が咲く

雪やこんこ

あられやこんこ

降つても降つても

まだ降りやまぬ

犬は喜び

庭かけまわり

猫はこたつで丸くなる

### 歌のこぼれ話

どの世代にとっても懐かしいこの歌「雪」がつくられたのは明治末年。尋常小学唱歌第二学年用として採用され、長く歌い継がれてきました。平成19年には「日本の歌百選」にも選ばれています。枯れ木に花が咲くように白い雪が降り積もり、犬が遊び回る情景は、まるで民話の世界のような幸福に満ちているようです。

JASRAC 出1401023-401



## ドクター青木晃の アンチエイジング講座



### 「酒は百薬の長」を考える②

前回はお酒の適量についてのお話でした。今号のテーマは赤ワイン。赤ワインがからだに良いと人気があるのはなぜでしょうか。

11月はボジョレーヌーボーの禁酒で、毎年ワインが盛り上がります。赤ワインには健康や美容に良いと言われるポリフェノールが多く含まれています。ポリフェノール、言葉は聞いたことがありますよね。実は一口にポリフェノールといつても、一つの成分のことを指すのではありません。ポリフェノールにはいろいろな種類があります。緑茶のカテキン、大豆のインフラボン、ブルーベリーのアントシアニンなどは有名です。赤ワインは、原料の黒葡萄の皮や種子に、アントシアニン、カテキン、フランボーヌル、レスベラトロール、プロアントシアニンなど、抗酸化作用が高いポリフェノールが多く含まれて

います。白ワインと違い、赤ワインはこれらを丸ごと使用、タンクの中に緒に入れアルコール発酵をさせます。そうしてできあがった赤ワインには、抗酸化、つまり老化を防ぐ力がたくさん詰まっていると言えるでしょう。アルコールであるところを忘れないに、効果もされることなどが、もつともからだに良いワインの飲み方です。



**青木 晃** 横浜クリニック院長  
1961年東京都生まれ。1988年防衛医科大学医学部卒。防衛医大、東大医学部附属病院などで、内分認代謝内科、腫瘍内科の臨床研究に従事。「老化が病気を引き起こす」という観点からアンチエイジング(抗加齢)医学のフィールドにおいて早くから活躍。最新作は『いい眠り』は体を引き締める睡眠ダイエット』(新講社)



## お客様相談室

平成25年度  
「お客様アンケート」の報告

### 「居宅介護支援」編

ご契約3ヶ月のお客様を対象に、ケアマネジャーの「接遇」と「仕事をする上で基本的なこと」についてお聞きしました。多くの方に「ケアプランを作成する時、よく話を聞いてもらつた」「内容にも満足している」とお答えいただき、接遇面でも大変良い評価をいただきました。また介護者の方からもケアマネジャーとの出会いが「気持ちを軽くした」「どれほど気が楽になつたことか」などの言葉をいただきました。しかし中には「もう少し、相手の立場を理解し、相手の目線に立つて欲しい」「しゃくし定規のところがある」等のご意見もいただいております。

私たちはこれからも皆様から頂いた「ひとつ」としっかりと受け止めサービスの向上に努めてまいります。

### 平成26年11月号の感想

● 「帰ってきたヨッパライ」は当時、画期的な音楽表現（早回し）で、自分も含め子どもたちの間で高音で歌うのが流行ってました。松山さんが登場されて、加藤和彦さんの都会的な歌も懐かしく思い出され、「パッチギ」はDVDを借りて観ました。いろいろと触発されています！（都筑区T様のご家族様）

● 松山猛さんがバーでお酒を片手にされている表紙を見てびっくりしました。中の欄には「酒は百薬の長」とあるじゃないですか。老老の身ですから外で飲むことはもうありませんが、梅酒作りは老妻が娘に引き継いで割つて松山さんを気取つてみました。（南区O様）

● 漢字クイズは娘と孫に勝ちました。毎回楽しみにしていますが、今回むずかしめで特に良かつたです。（鶴見区S様）

### 皆さまからのお便りをお待ちしています。

編集部では、ご意見、ご感想、とりあげて欲しいテーマなど皆さまからのお便りをお待ちしています。お便りをくださった方の中から、抽選で5名様に薄型ルーペをプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

〒221-0055

横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス4階  
横浜市福祉サービス協会「ちゅーりっぷ通信」編集部



## 今月の協会ニュース

平成26年8月に鶴ヶ峰地域ケアプラザに厚生労働省から審議官や高齢支援課長が視察に訪れ、今後の地域包括ケアシステムのあり方の意見交換をしました。

同月、いすみ中央地域ケアプラザ小規模多機能「花みずき」およびヘルパーステーション

いずみを公明党議員団が視察しました。



10月には

香港からソーシャルサービスを提供する行政機関「香港保良局服務部」の職員の方々



香港から視察団 新鶴見ホームにて

議員団視察 いすみ中央地域ケアプラザにて

### 介護者のための相談電話

### 介護に疲れたとき…ほっとライン

介護に疲れて行き詰まつたり、不安になつたりしたとき、ひとりで悩まないで、ほっとひと息ついてみませんか？

♪ 045-450-3194

\*受付は年末年始および祝祭日を除く月曜～金曜の8:45～12:00／13:00～17:15まで。ご相談の秘密は厳守いたします。

### 協会の理念

- お客様の満足
- 人を大切にし共に育ちあう企業風土
- 公正で透明感のある企業倫理

### 「お客様相談室」をご利用ください

「お客様相談室」では、事業やサービスについてのご意見やご要望をお受けしています。まずはお気軽にお電話ください。

♪ 0120-701-782 FAX 045-450-3158

社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

〒221-0055 神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス4階

045-450-3110 FAX 045-450-3115  
ホームページ <http://www.hama-wel.or.jp/>